

# 4

## 第4章

# 重点プロジェクト

---

4-1	位置づけとねらい	66
4-2	重点プロジェクト	66
1	つながるエネルギー創出プロジェクト	67
2	山口の生きものバンザイ!プロジェクト	68
3	ごみマイナス100gプロジェクト	69
4	エコ知っちょる・しちょる人づくりプロジェクト	70

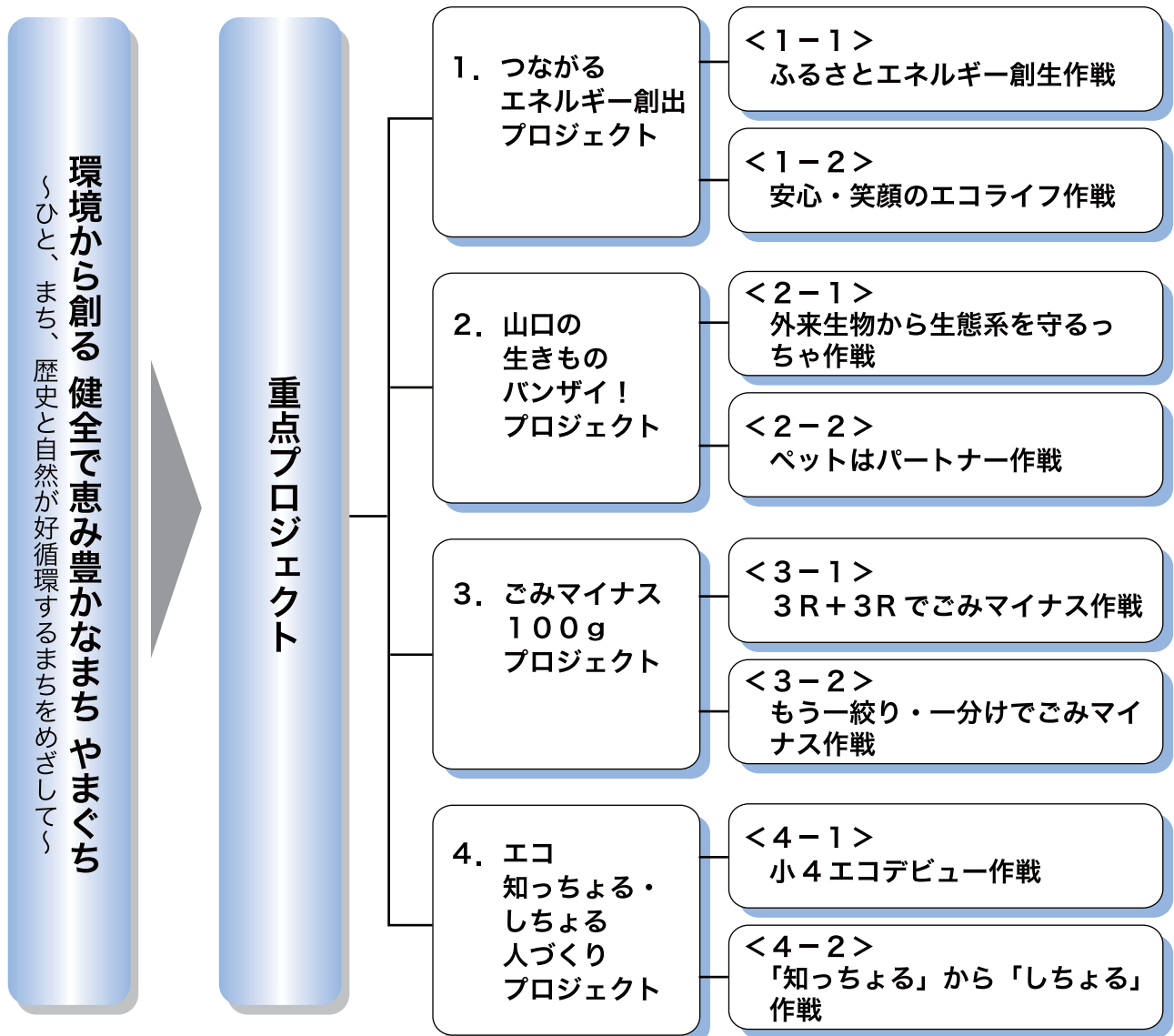
# 4-1 位置づけとねらい

重点プロジェクトは、本市の地域特性、社会の変化を踏まえ、特に重要かつ早期の達成が必要な課題について、施策の枠を超えて4つのプロジェクトと8つの作戦として掲げ、めざす環境像の実現をねらいとしています。

プロジェクトには、指標を設け、進行管理していきます。

なお、改定前の計画における重点プロジェクトの事業について、取組状況や成果を整理し、引き続き有効な手段と考えられるものは、本計画の重点プロジェクトにも掲げています。成果を達成したものや、取組が定着したものについては、施策の展開の中で取り組んでいきます。

# 4-2 重点プロジェクト



## 1. つながるエネルギー創出プロジェクト

太陽光や風力、バイオマス、水素等を電気や熱源とする、いわゆる新エネルギーは、輸入に頼る石油等と異なり、地域で再生し、循環できる‘ふるさとエネルギー’といえます。

山口のまちで生まれた‘ふるさとエネルギー’が、これからの暮らしの安心安全につながる、地域の産業等の活性化につながるだけでなく、みんなでエネルギーをシェアし、省エネに取り組むことで人の交流につながる。こうした地域の活力へとつながるエネルギーをつくることをねらうプロジェクトです。

### <1-1> ふるさとエネルギー創生作戦

●新エネルギー・蓄電池・電気自動車・燃料電池自動車\*の普及とそのためのインフラ整備により、買い物や医療、給油等の定住に必要な機能が欠けた地域の日常生活機能維持や、交通・防災・産業等に、ふるさとエネルギーを効率よく活用する、いわゆるスマートコミュニティについて検討し、地域課題の解決やまちの活力創生につなげます。

●廃棄されていた市内産のバイオマス資源からの発電や燃料(小規模ペレット\*)製造事業の実証に、様々な分野と連携して取り組みます。

主な取組	H26 (準備)	H27	H28	H29
定住や産業、都市機能の高度化等への活用		研究、候補地区選定	地元との協議、実現性検討	詳細検討 →
下水道汚泥メタンガス発電	基本設計	実施設計	工事 →	→
まちなか小規模ペレット製造	セミナー、予備調査	視察、本調査	設備支援検討	稼働 →

### <1-2> 安心・笑顔のエコライフ作戦

●地域の防災拠点となる、地域交流センター等に、太陽光、風力、地熱等の新エネルギーや蓄電機器を導入し、災害や停電の際でも拠点機能を維持します。

●家庭用燃料電池や使用するエネルギーを自ら作り出す住宅(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)について、市内の住宅メーカーやガス事業者と連携し、情報提供等の導入促進を行います。

●ひとつの場所(部屋、友人知人宅、まちなかスポット)等に集まり、冷暖房をシェアして快適に節電するとともに、集まることにより人の交流を生む、クール&ウォームシェアに取り組みます。

主な取組	H27	H28	H29
防災拠点への新エネ敷設	敷設		→
住宅の自立電源化促進 情報提供	情報提供		→
クール&ウォームシェア	公共施設中心	設備支援検討	→

プロジェクト全体の指標  
新エネルギー等を、公共の福祉、地域活性化に活用した件数

6件

## 2. 山口の生きもののバンザイ！プロジェクト

人間と、本市に生きるたくさんの生きものが共生することのできる環境を大切に、後世に受け継いでいく上で、特に、人間がそもそもの原因をつくり、人間の取組によってしか解決できない、外来種の生物とペットの2つの課題に向き合うプロジェクトです。

外来生物の大半は、そもそも人間が食料用や毛皮用、愛玩用にと国内に持ち込んだものが野生化したものです。これらは、市域の環境に適応、繁殖し、従来からそこで生息している生物を食べたり、生育を妨げたりして、山口市本来の生態系をこわしてしまう原因になっています。

外来生物を放さず、増やさず、生態系を守る取組を進めます。

また、ペットは、犬、猫、ニワトリ、ウサギといったなじみの深いものだけでなく、魚や昆虫、爬虫類など様々な動物が飼育されています。このような動物は、人間が世話をして、管理してやらなければ生きていけない弱い立場にあることを理解し、責任を持った飼い方、接し方について、みんなで考え、行動していくための取組です。

### <2-1> 外来生物から生態系を守るっちゃ作戦

●外来生物について、その種類ごとの特性、管理・駆除方法についてわかりやすく示し、自然界へ放さない、増やさないように管理することを啓発していきます。特に、オオキンケイギク\*については、皆で駆除します。

主な取組	H27	H28	H29	プロジェクトの指標 市内で保存すべき自然記念物や天然記念物等の数 85箇所 絶滅等で数を減少させない
外来生物に関する周知啓発 外来生物発見マップ作成	周知 作成			
オオキンケイギク駆除活動、 用具貸し出し	周知	駆除活動 ○	駆除活動 ○	

### <2-2> ペットはパートナー作戦

●ペットを生涯飼いつづけることの大切さや、自然界へ放すことによる生態系や生活環境への影響について、わかりやすく啓発します。

●特に、捨て猫や迷い猫等で殺処分となってしまうケースや、放し飼いの猫のふん尿被害等で、近隣トラブルに発展するケースの多い猫を中心として、ペットの飼い方や接し方について、市民、獣医師、関係団体、行政が皆で考え、より良い方向性と方法を検討し、実行していきます。

主な取組	H27	H28	H29	プロジェクトの指標 市内のペットの引き取り件数 25年度503件から減
ペットの飼養、接し方会議	協議	連絡会議	連絡会議	
ガイドラインに沿った事業	準備・作成	実施		

### 3. ごみマイナス100gプロジェクト

本市では、市民一人あたりの1日のごみの排出量が、全国平均よりも約1割多いことから、これに当たる100gの削減に、全市をあげて取り組むプロジェクトです。

#### <3-1> 3R+3Rでごみマイナス作戦

●ごみの排出量を減らすための現在の取組、発生・排出を抑制する(Reduceリデュース)、再使用(Reuseリユース)する、資源を再生利用(Recycleリサイクル)するの3R運動に加え、余分には買わない(Refuseリフーズ)、修理する(Repairリペア)、補充する(Refillレフィル)の「3R」に加え、3R+3R運動を全市で展開します。

主な取組	H27	H28	H29
ごみカレンダー改訂	改訂	配布	
ウェブサイトへ関連サイト立ち上げ	準備	作成、公開	
イベント開催(かえっこバザール、修理教室、フリマ等)	研究、準備	実施 ○	実施 ○

#### <3-2> もう一絞り・一分けでごみマイナス作戦

●家庭、事業所から排出される生ごみの水分の除去や堆肥化等の自家処理の方法や、分別に迷うごみの解説、季節ごとに多くなるごみの処理方法の紹介等を行い、今よりさらに1段階レベルアップしたごみの減量と分別に全市全体で取り組みます。

主な取組	H27	H28	H29
ウェブサイトに50音別分別早見表、タイムリー分別解説作成	準備	公開	
水切り作戦展開 生ごみ処理機の推進	水切グッズや	水切方法紹介	イベントで配布
24時間資源物ステーションの拡充	設備		

プロジェクト全体の指標  
 市民が1日一人あたりに排出するごみの量

H25年度の1,093gから  
 H29年度に1,000gへ

## 4. エコ知っちょる・しちょる人づくりプロジェクト

環境を保全し、次世代へ継承する各施策の推進には、市民一人ひとりが正しい理解をする(エコ知っちょる)ことはもとより、それを日常生活の中で実践する(エコしちょる)ことの積み重ねが大切です。気づきから、理解、参加、体験、行動まで、テーマと対象者を考えて、わかりやすく楽しみながらできる環境教育や講座、体験や活動といった学びの機会づくり、場づくりを、行政が開催するものだけでなく、大学や企業、NPO団体の取組も活用しながら進めていくプロジェクトです。

### <4-1> 小4エコデビュー作戦

- 環境に関する学校での教育が始まる小学校4年生程度を対象とした、資源循環関係の副読本“あいらぶ山口”の改訂や、自然共生編の作成、楽しく学べる検定(クイズ)を実施し、子どもの環境学習デビューを推進します。
- 授業で習った資源循環、ごみ処理施設にプラスして、これからの地産地消エネルギーである太陽光や風力といった新エネルギーについても学べる施設見学プログラムの作成を環境学習のフォローアップとして実施します。

主な取組	H26 (準備)	H27	H28	H29	プロジェクトの指標 環境施設来場者数
小4エコデビュー		副読本作成	環境検定開始		
環境施設見学プログラム 次世代エネルギーパーク 認定	風力発電設備 設置	受入れ開始 認定			

### <4-2> 「知っちょる」から「しちょる」作戦

- インターネットで、市内の環境に関する情報を収集するための入り口となる「やまぐち環境情報ポータルサイト」を作成し、市民の「エコ知っちょる」をサポートします。また、サイト内で、環境学習情報や子ども向けの「環境検定」、市内の環境関係団体の活動紹介等を展開し、楽しく、一緒に「エコしちょる」段階へ進めていきます。
- 森林や里山、水辺といった環境の中で実施する体験教室、植林や美化活動、環境に関する最新技術の工場見学やワークショップ等を大学や企業、NPO等の団体の活動と連携して実施し、子どもからお年寄りまで、市民の環境保全に関する意識高揚と継続的な実践を図ります。

主な取組	H27	H28	H29	プロジェクトの指標 環境に優しい行動をしている(環境活動に参加している)市民の割合
エコ知っちょる(環境ポータルサイト)	準備、公開			
エコしちょる(連携しての環境学習実施)				

# 5

## 第5章

# 計画の推進

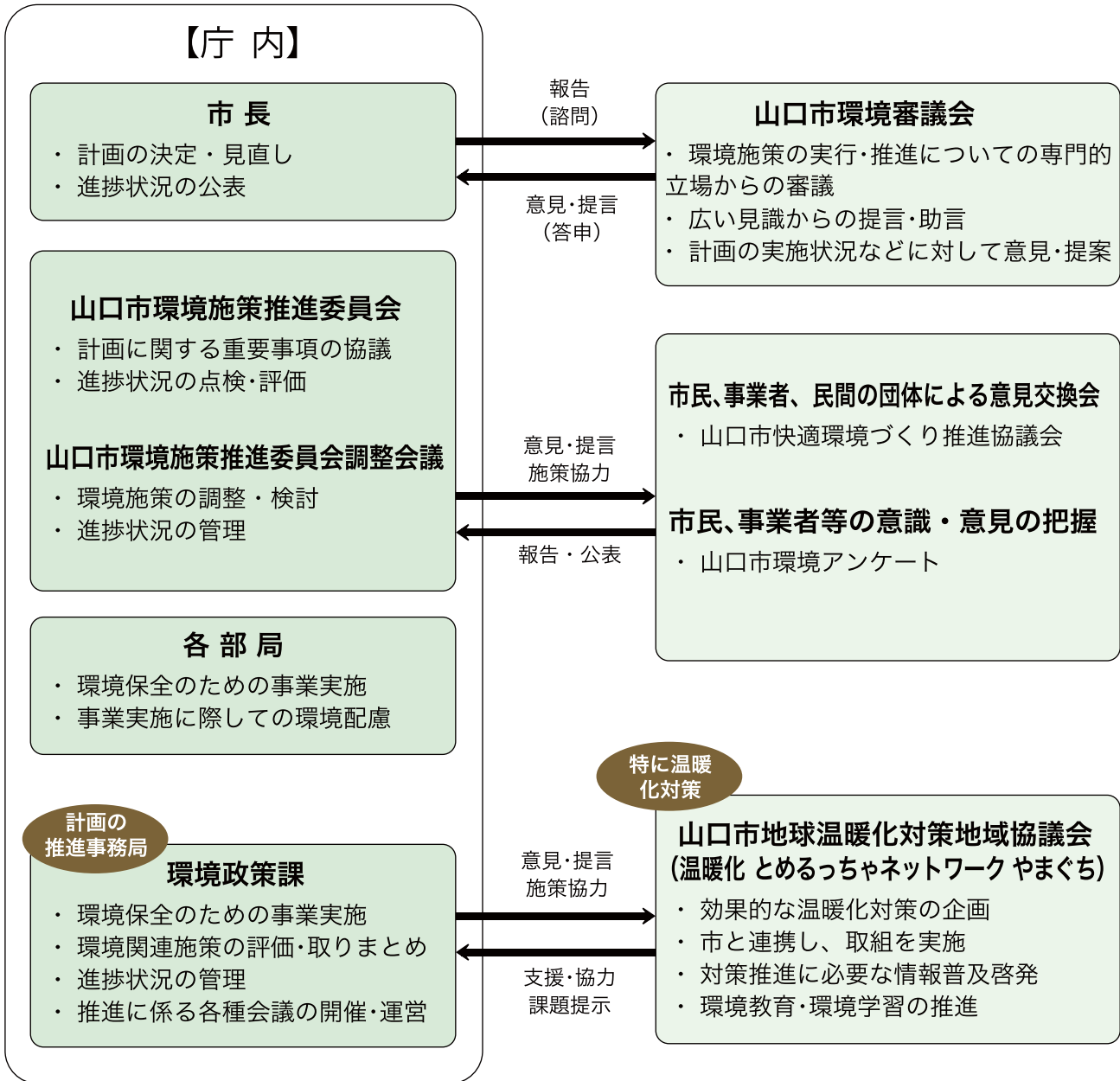
---

5-1	計画の推進体制 .....	72
5-2	計画の進行管理および公表 .....	74

# 5-1 計画の推進体制

## (1) 趣旨

山口市環境審議会、山口市環境施策推進委員会等の組織により、本計画の着実な推進を図るとともに、山口市地球温暖化対策地域協議会などにより市民、事業者、市等が協働しながら、それぞれの役割を果たしていくための仕組みづくりを行います。





## ■庁内における計画の着実な推進

### ◇山口市環境施策推進委員会

計画やビジョン等に関する重要事項の協議を行います。

### ◇山口市環境施策推進委員会調整会議

環境施策の部局横断的な調整、検討や、進捗状況の管理を行います。

## ■有識者による専門的立場からの提言・助言

### ◇山口市環境審議会

専門的知識と高度な識見を有する山口市環境審議会に対して、本計画に掲載する環境施策の着実な実施についての助言、提言を求めます。

## ■各主体の連携による計画の推進

### ◇山口市快適環境づくり推進協議会

生活公害のない安全で快適な生活環境づくりに向けての協議や活動を行います。

### ◇山口市環境アンケート

計画の着実な推進に向けて、市民、事業者等の環境に対する意識・意見の把握を目的に隔年度実施します。

## ■地球温暖化対策の重点的な推進

### ◇温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち

本計画の中でも特に「山口市地球温暖化対策実行計画」として位置付けた地球温暖化対策に関する取組については重点的な推進が求められます。

そこで、本市では市域の温室効果ガス排出量削減のため、市民や事業者、民間団体、市（行政）等の知恵を結集し、幅広く分野を超えて連携し地球温暖化防止に向けた実践活動の推進を図ることを目的として、山口市地球温暖化対策地域協議会「温暖化 とめるっちゃネットワーク やまぐち」を設置しています。

協議会では、温室効果ガス削減に向けた対策の企画や実践、対策推進に必要となる情報の普及啓発、環境教育・環境学習の推進等の活動を行います。

なお、この協議会は、地球温暖化対策推進法第26条第1項で規定された「地球温暖化対策地域協議会」として位置づけます。

## 5-2 計画の進行管理および公表

山口市環境審議会、山口市環境施策推進委員会等の組織により、本計画の着実な推進を図るとともに、山口市地球温暖化対策地域協議会などにより市民、事業者、市等が協働しながら、それぞれの役割を果たしていくための仕組みづくりを行います。

長期的な目標の実現に向け、環境の保全および創造に関する施策の計画的な推進や適切な環境配慮の実施などについて、進行管理及び公表を行います。

### (1) ISO14001環境マネジメントシステムの運用

本市は、国際規格であるISO14001に適合した環境マネジメントシステムの運用により、本計画に掲げる施策や取組を積極的に推進します。

### (2) 計画の進捗状況の点検・公表

本計画の着実な実行を確保するため、山口市環境基本条例第11条に基づき、環境の状況や施策の実施等について、毎年度、定期的に点検・評価し、その結果を環境審議会に報告するとともに、年次報告書(環境概要)を作成します。

また、様々な媒体を通じて広く公表し、市民、事業者等の意見聴取に努めながら、計画の進捗状況の管理を行います。